nikko am
Nikko Asset Management

新ソブ

追加型投信／内外／債券

交付運用報告書

第102期（決算日2018年１月18日）　第103期（決算日2018年２月19日）　第104期（決算日2018年３月19日）
第105期（決算日2018年４月18日）　第106期（決算日2018年５月18日）　第107期（決算日2018年６月18日）

作成対象期間（2017年12月19日～2018年６月18日）

第107期末（2018年６月18日）	
基準価額	8,704円
純資産総額	3,010百万円
第102期～第107期	
騰落率	△ 5.0%
分配金（税込み）合計	240円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「新ソブ」は、2018年６月18日に第107期の決算を行ないました。

当ファンドは、原則として、世界中の国の中から、経済・財政状況や対外収支状況などを勘案して、相対的に信用力が高いと判断される国を選定し、当該国通貨建てのソブリン債券に分散投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社
東京都港区赤坂九丁目７番１号
http://www.nikkoam.com/

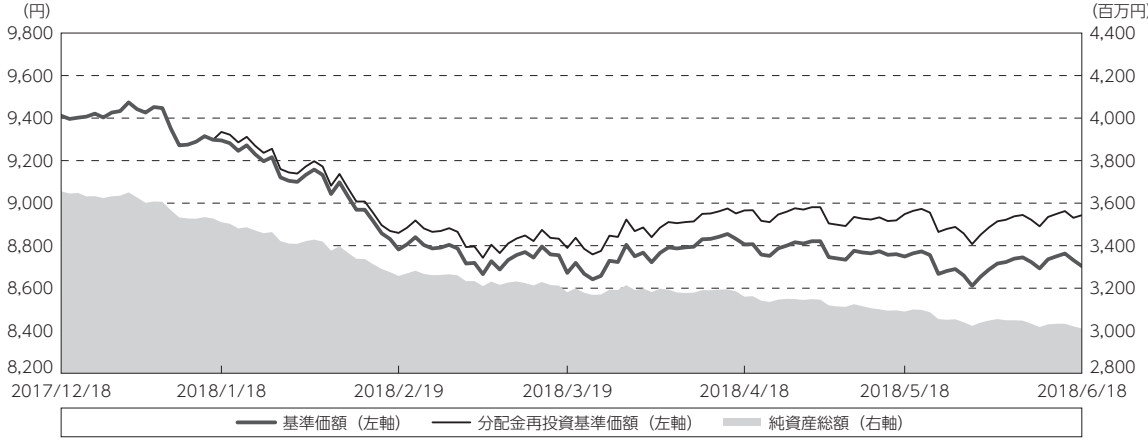
当運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　電話番号：0120−25−1404
午前９時～午後５時　土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2017年12月19日～2018年6月18日)



第102期首： 9,411円
第107期末： 8,704円（既払分配金(税込み)：240円）
騰　落　率：△ 5.0%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年12月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
(注) 上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、相対的に信用力が高いと判断される国を選定し、当該国通貨建てのソブリン債券に分散投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

・米国大統領による保護主義的な貿易政策の発表を受けて貿易を巡る懸念が世界的に広がったこと。
・欧州中央銀行（ＥＣＢ）が予想インフレ率を下方修正し、ＥＣＢ総裁がインフレへの慎重な見方を示したこと。

＜値下がり要因＞

・米国連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）による利上げ観測が強まったことや、追加利上げが決定されたこと（2018年３月、６月）。
・ＥＣＢ総裁がユーロ圏内の景気改善について明るい見通しを示したこと。
・円に対してアメリカドルやユーロが下落したこと。

1万口当たりの費用明細

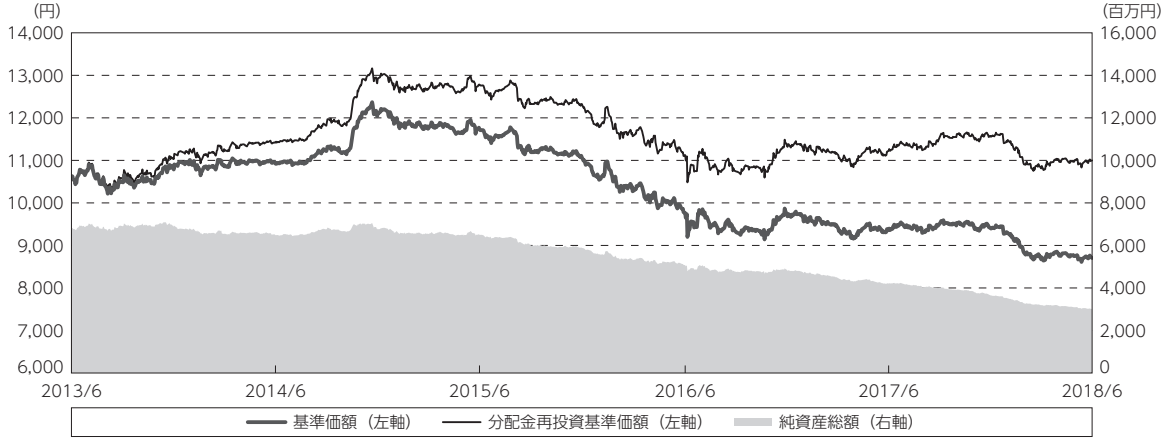
（2017年12月19日～2018年6月18日）

項目	第102期～第107期 金額	第102期～第107期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	60	0.673	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(29)	(0.323)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(29)	(0.323)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.043	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(2)	(0.028)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	64	0.716	
作成期間の平均基準価額は、8,923円です。			

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2013年6月18日～2018年6月18日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、2013年６月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年６月18日 決算日	2014年６月18日 決算日	2015年６月18日 決算日	2016年６月20日 決算日	2017年６月19日 決算日	2018年６月18日 決算日
基準価額　(円)	10,608	10,922	11,729	9,762	9,360	8,704
期間分配金合計（税込み）　(円)	－	480	480	480	480	480
分配金再投資基準価額騰落率　(%)	－	7.7	11.9	△ 13.0	0.9	△ 2.0
純資産総額　(百万円)	6,798	6,476	6,500	5,071	4,207	3,010

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

（2017年12月19日～2018年6月18日）

（債券市況）

米国など各国の10年国債利回りは、期間の初めと比べて総じて上昇（債券価格は下落）しました。

期間の初めから2018年２月中旬にかけては、ＥＣＢ総裁がユーロ圏内の景気改善について明るい見通しを示したことや、米国の雇用統計にて賃金の伸びが市場予想を上回り米国の利上げペースの加速が意識されたことなどを背景に、各国の10年国債利回りは総じて上昇しました。２月下旬から３月下旬にかけては、フランスやドイツの景況感に関する指標が市場予想を下回ったことや、米国大統領による保護主義的な貿易政策の発表を受けて貿易を巡る懸念が世界的に広がったこと、ＥＣＢが予想インフレ率を下方修正し、ＥＣＢ総裁がインフレへの慎重な見方を示したことなどを受けて、各国の10年国債利回りは総じて低下（債券価格は上昇）しました。４月上旬から期間末にかけては、イタリアやスペインにおける政局の先行き懸念から安全資産への逃避需要が強まったことやＥＣＢが2019年夏まで利上げを実施しない方針を示したことなどが利回りの低下要因となったものの、中国の市場開放政策を受けて米中間の貿易摩擦による世界経済の成長鈍化懸念が緩和したことや、商品価格の上昇によりインフレ圧力が高まったことなどを背景に、各国の10年国債利回りは概して上昇しました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移

円／ユーロの推移

円／カナダドルの推移

円／オーストラリアドルの推移

円／イギリスポンドの推移

当ファンドのポートフォリオ

(2017年12月19日～2018年6月18日)

(当ファンド)

当ファンドは、「世界ソブリン債券マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(世界ソブリン債券マザーファンド)

世界中の国の中から、経済・財政状況や対外収支状況などを勘案して、相対的に信用力が高いと判断される国を選定し、当該国通貨建てのソブリン債券に分散投資を行ないました。

期間の初めの投資対象国（通貨ベース）は、アメリカ、ベルギー、オランダ、ドイツ、カナダ、オーストラリア、スウェーデンなどでした。

期間中は、ユーロとアメリカドルの対円での底堅い推移を想定し、これらの投資比率を高めとしました。

期間末時点での投資対象国（通貨ベース）は、アメリカ、フランス、ベルギー、ドイツ、イギリス、カナダ、スウェーデンなどです。

期間中、ポートフォリオ全体の修正デュレーション（金利感応度）は、国債利回りのボラティリティ（変動性）が高まった局面で機動的な対応を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年12月19日～2018年6月18日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2017年12月19日～2018年6月18日)

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項　目	第102期 2017年12月19日～ 2018年1月18日	第103期 2018年1月19日～ 2018年2月19日	第104期 2018年2月20日～ 2018年3月19日	第105期 2018年3月20日～ 2018年4月18日	第106期 2018年4月19日～ 2018年5月18日	第107期 2018年5月19日～ 2018年6月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	40 0.428%	40 0.453%	40 0.459%	40 0.452%	40 0.455%	40 0.457%
当期の収益	5	4	4	15	6	5
当期の収益以外	34	35	35	24	33	34
翌期繰越分配対象額	2,046	2,011	1,976	1,951	1,918	1,883

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「世界ソブリン債券マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（世界ソブリン債券マザーファンド）

世界中の国の中から、経済・財政状況や対外収支状況などを勘案して、相対的に信用力が高いと判断される国を選定し、当該国通貨建てのソブリン債券に分散投資を行なう方針です。

当面、投資対象国（通貨ベース）、ポートフォリオ全体のデュレーションともに、現状を継続することとしますが、市場環境を考慮して機動的に変更する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

お知らせ

2017年12月19日から2018年６月18日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

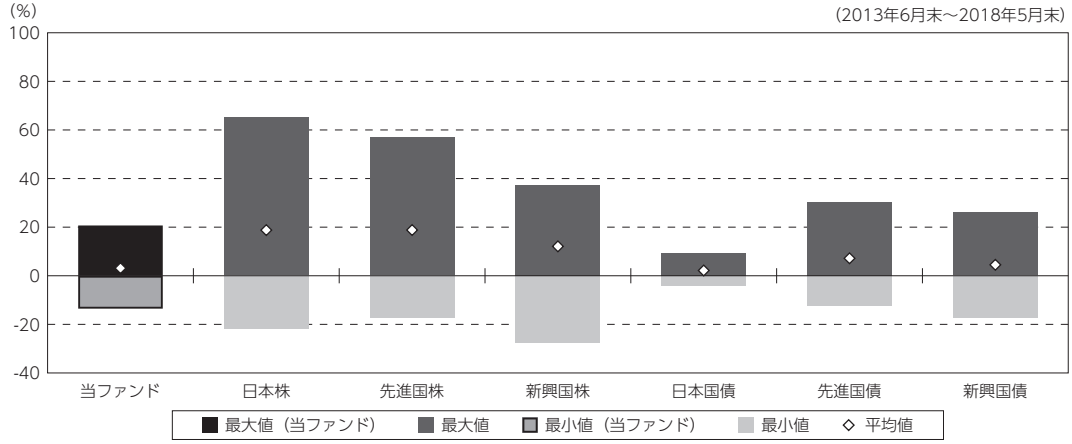
当ファンドについて、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第１項第８号の２に定める信用リスクを適正に管理する方法として、一般社団法人投資信託協会規則に従って委託会社が合理的な方法を定めるべく、2018年３月17日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。（付表）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2009年７月31日から2024年６月18日までです。	
運用方針	主として「世界ソブリン債券マザーファンド」受益証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	新ソブ	「世界ソブリン債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	世界ソブリン債券マザーファンド	内外のソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、国際機関債等をいいます。）を主要投資対象とします。
運用方法	原則として、世界中の国の中から、経済・財政状況や対外収支状況などを勘案して、相対的に信用力が高いと判断される国を選定し、当該国通貨建てのソブリン債券に分散投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの構築にあたっては、信用力の分析に加え、金利の水準や方向性、為替の水準や方向性、相対的魅力度、流動性などの分析を行ない、組入通貨やその配分比率、および組入銘柄を決定します。	
分配方針	第１計算期は収益分配を行ないません。第２計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	20.7	65.0	57.1	37.2	9.3	30.4	26.1
最小値	△ 13.5	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	3.1	18.8	18.8	12.1	2.2	7.2	4.5

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2013年６月から2018年５月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日 本 株：東証株価指数（TOPIX、配当込）
先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●**東証株価指数（TOPIX、配当込）**は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●**MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●**MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●**NOMURA-BPI国債**は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●**FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）**は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●**JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）**は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

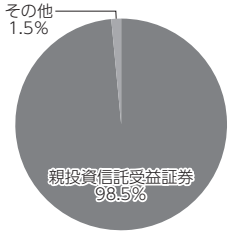
（2018年6月18日現在）

○組入上位ファンド

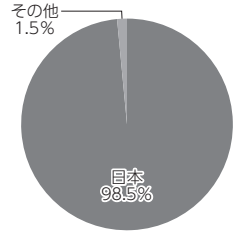
銘　　柄　　名	第107期末
	%
世界ソブリン債券マザーファンド	98.5
組入銘柄数	1銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

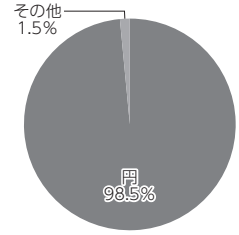
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項　　目	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末
	2018年１月18日	2018年２月19日	2018年３月19日	2018年４月18日	2018年５月18日	2018年６月18日
純資産総額	3,509,984,900円	3,257,544,381円	3,181,069,159円	3,160,092,825円	3,090,292,139円	3,010,826,161円
受益権総口数	3,776,097,986口	3,709,480,405口	3,668,051,185口	3,588,528,611口	3,532,203,975口	3,458,988,902口
１万口当たり基準価額	9,295円	8,782円	8,672円	8,806円	8,749円	8,704円

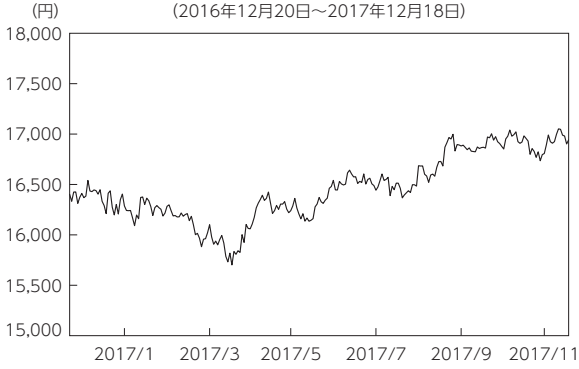
（注）当作成期間（第102期～第107期）中における追加設定元本額は70,479,918円、同解約元本額は495,952,562円です。

組入上位ファンドの概要

世界ソブリン債券マザーファンド

【基準価額の推移】

(2016年12月20日～2017年12月18日)



【１万口当たりの費用明細】

(2016年12月20日～2017年12月18日)

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) その他費用	3	0.021
(保管費用)	(3)	(0.021)
合計	3	0.021
期中の平均基準価額は、16,450円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

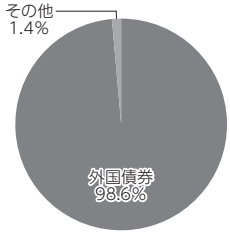
【組入上位10銘柄】

(2017年12月18日現在)

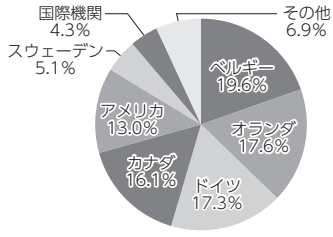
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	BELGIUM KINGDOM 0.8% 2025/6/22	国債証券	ユーロ	ベルギー	19.6
2	BK NEDERLANDSE GEMEENTEN 4.375% 2021/2/16	特殊債券	アメリカドル	オランダ	10.0
3	US TREASURY N/B 2.25% 2027/8/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	7.3
4	BK NEDERLANDSE GEMEENTEN 0.625% 2027/6/19	特殊債券	ユーロ	オランダ	5.6
5	NRW.BANK 0.5% 2026/5/11	特殊債券	ユーロ	ドイツ	5.6
6	LANDWIRTSCH. RENTENBANK 0.375% 2026/3/16	特殊債券	ユーロ	ドイツ	5.5
7	MANITOBA (PROVINCE OF) 3.05% 2024/5/14	地方債証券	アメリカドル	カナダ	5.5
8	SWEDISH EXPORT CREDIT 2% 2022/8/30	特殊債券	アメリカドル	スウェーデン	4.6
9	BRITISH COLUMBIA PROV OF 2.25% 2026/6/2	地方債証券	アメリカドル	カナダ	4.6
10	LAND NORDRHEIN-WESTFALEN 2.375% 2021/9/16	地方債証券	アメリカドル	ドイツ	4.4
組入銘柄数		21銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

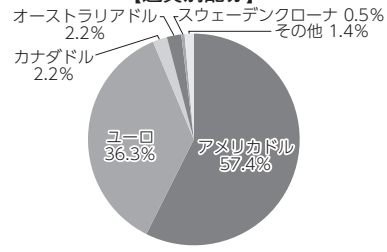
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。